

広報 こうか消防119

2021
1月

号外

甲賀広域行政組合消防本部からの情報を発信します！



2台目となる
救助工作車の運用を開始！

“電光石火”のごとく
現場へ駆けつける・・・

新 甲賀消防甲西救助I (救助工作車II型) 諸元・性能

全長	7,760mm
全幅	2,350mm
全高	3,200mm
乗車定員	6名
使用シャシ	5.5トン級
車両総重量	10,910kg
排気量	5,123cc
変速装置	6速マニュアルトランスミッション
運用開始日	令和3年1月1日

甲賀広域行政組合消防本部では、この度、2台目となる「救助工作車」を湖南中央消防署(湖南市)に配備し、本年1月1日から運用を開始しました。

これまでは、管内を水口消防署配備の救助工作車1台で対応してきましたが、この車両は緊急消防援助隊の登録車両であり、有事の際には緊急消防援助隊として他所・他府県へ出動することとなり、この間に管内で救助事故が発生した場合には湖南中央消防署配備の資機材搬送車で対応してきました。これらを踏まえ、緊急消防援助隊活動等に救助工作車が出動した場合においても、管内の救助事故に対応し、また、点検時にも一定の消防力が維持できるように、本消防本部消防力整備基本計画に基づき、約20年にわたり活躍してきました湖南中央消防署配備の「資機材搬送車」を「救助工作車」へと昇格更新したものです。

新たなステージへ向け発進



↑令和2年12月25日、消防本部において、新しい救助工作車のお披露目を行いました。

「救助工作車」とは・・・

各種災害において、人命を救助するために必要なウィンチやクレーンの他、エンジンカッター等を積載する車両のことで、主に5～7クラスのトラックシャーシをベースにしている車両を「救助工作車II型」といいます。



↑車両側面には「こにゃん」と「いしべえどん」、後部には湖南市公式Vtuber「Minami」が描かれています。

#ORANGE #RESCUE #PRIDE





GO TO NEXT STAGE

主要装備については、特別救助隊を歴任した職員が誰でも容易に操作できる車両、資機材を整備するといふ方針の元に、更新前の資機材搬送車に積載していた資機材のうち、引き続き使用可能なものは、更新することなく載せ替えて対応することとし、不要な支出を抑えるように配慮しました。

また、「救助隊の編成、装備及び配置の基準に関する省令」で定められた装備、資機材を積載し、水口消防署の救助工作車とほぼ同等の装備や資機材で構成しました。

これからは、2台の救助工作車を管内の東西（水口消防署と湖南中央消防署）に配置し、専任の救助隊として運用することで、同時多発的な救助事案や大規模な事案にも対応が可能となり、また、救助事案の発生地点から直近にある車両がいち早く現場へ向かうことができるなど、代替性のある救助体制を確保し、幅広い対応が可能となりました。

新 甲賀消防甲西救助Ⅰ(救助工作車Ⅱ型) ～主要装備～

- 1 クレーン装置 ユニック社 軽量4段ブーム2.93tクレーン
- 2 ウインチ装置 ロッソー社 常時5t前後引きウインチ
- 3 屋上上昇式発電照明装置 湘南工作販売㈱ LED3000w×2灯
- 4 自動エンジン回轉制御装置 マルチスロットルコントロールシステム
- 5 救助資機材
 - 重量物排除用器具 スプレッダー（電動油圧式）、エアマイティ（空気式）
 - 切断用器具 カッター（電動油圧式）、チェーンソー、エンジンカッター
 - 破壊用器具 ハンマドリル、削岩機
 - 検知・測定器具 各種ガス測定器
 - 呼吸保護用器具 空気呼吸器
 - 隊員保護用器具 耐電手袋、耐電長靴、耐電衣
 - 検索用器具 簡易画像探索機（棒型カメラ）
 - 水難救助器具 流水救助器具（レスキューフローティングベスト）
 - 山岳救助器具 登山器具一式



甲賀消防水口救助Ⅰ
(救助工作車Ⅱ型)

新甲賀消防甲西救助Ⅰ
(救助工作車Ⅱ型)